やさい畑クラブ

第６回やさい畑クラブ実施報告書

開催日:2024 年7月21日(日)　19:00～21:30
会　場:Zoom によるオンライン会
参加者:　島田(横浜)、柳瀬(深谷)、阿部(桂)(三重)、吉平(愛知)、中村(四国)、森口(四国)
富澤(前橋)、小西(さいたま)、倉林(平塚)、松原(さいたま)、瀬尾(四国)
堤(宇都宮)、麻生(川越)、木村(愛知)、阿部(雅)(愛知)、二宗(愛知)　　合計16名

今回総勢 16 名の参加者の構成(所属支部)は、関東が８人、東海5人、四国３人となり、関東が一番多いことになる。

最初の 30 分は参加者の近況報告である。
・梅雨が明けて暑さが大変。コロナも増加
・群馬の国定地区でピンポン玉大の雹(ヒョウ)が降って農作物大被害。車のボンネットもぼこぼこ。昨年は新前橋付近でも発生。
・35℃以上になるとセミも鳴かない。トマトは赤くならない障害が出ている。猛暑の影響大。
・野菜や果実に小動物による被害増加
・暑さで畑にもなかなか行けず、草だらけ
以上のように野菜づくりを取り巻く環境は、昨年よりますます厳しくなっているようだ。

7 月下旬は夏野菜の収穫真っ只中という事で、テーマは、「今年の夏野菜を振り返って」ということにした。
自分の野菜づくりの状況で写真等をお願いした結果、11 名の方が事前に送ってくれた。
特に皆さんが注目したのは、柳瀬さんの「スイカづくり」の資料である。
退職後、書物、ネット情報からの知識と実体験から、柳瀬流栽培方法を作り上げた。
肥料の構成から植え付けてからの管理の仕方などを細かくまとめたものを説明してくれた。その方法で、1株で 12 個は間違いなく、18 個が目標とか。
沢山取れると「誰のために作っているのか」と奥さんに馬鹿にされるが、どの程度まで収穫可能かを試したく努力しているという事らしい。

島田さんは収穫直前のスイートコーンが何者かにより全滅。犯人は不明。どうして食べ頃がわかるのか不思議であるが収穫直前の被害によけいショックが大きいとは全員の弁。
上手く行ってない人は、他の人からいろんなアドバイスがあり、これからそれらを使って改善してみますという声があり、この会の存在価値も出てきた。

島田さんの資料

先回聞いたジャガイモの新しい方法にチャレンジ、うまくいったという声もあり。
今後もいろんな情報をうまく活用して、今まで以上に楽しく野菜づくりに挑戦できそうな雰囲気になった。

今回提出してもらったいろんな資料を今後も有効に活用できる様に、クラウド上に情報バンクを設置して、だれでも好きな時にアクセスして見れるようにすることにした。この仕組みは松原さんと幹事で検討して展開することにした。

文責　二宗(愛知)

阿部桂三
二宗光文
小西 憲二
松原(修56C、さいたま支部)
島田 光治
ynaka
kazuyuki yanase
富澤敏明
麻生信之（53W 川越支部）
阿部 雅信
Kippei. Yoshi
moriguchitoshio
kurabeyashi
瀬尾芳香
堤(51P 宇都宮支...
堤(51P 宇都宮支部)
木村 謙之
木村 謙之